

投 稿 規 定

1. 投稿論文は医学，診療に関する内容のもので，他誌に未発表のものに限り，綜説，原著，症例報告，コ・メディカルレポート，その他とする。
2. 原稿は横書きに口語文章体で記し，新かなづかい，常用漢字を使用すること。
3. 論文の長さは，図（写真），表を除き原稿用紙 20 枚以内を標準とするが，特に規定しない。
4. 論文内容の索引用語として，3 語以内を付記すること。
5. 文中の外国人名，化学薬品名（薬品名は一般名を用いる）は原語とする。但し，慣用のものはカタカナでよい（例：バセドウ病，ビタミン，ホルモン）。
6. 年号は原則として西暦年号を，数字は算用数字，単位は CGS 単位（ml, g, cm, kg 等）を用いる。
7. 図，表は出来るだけ日本語で作成することが望ましいが，特に規定しない。
8. 図（写真），表の数は特に制限しないが，図（写真）は原則として白黒に統一すること。白黒写真の文字や矢印は白黒にすること。内視鏡写真，カラードロッパーなどカラー表示が必須の場合は制限しない。図（写真）の中には図（写真）の説明は入れず，本文中に図の説明文を必ず付けること。他書からの引用の場合は必ず出典を明らかにすること。
9. 文献は引用箇所の右肩に上つき番号を付し，参考文献の頁に引用順に記載すること。連続する 3 個以上の引用の時は 1, 2, 3) とせず，1~3) の様に表記すること。

文献記載例

- a) 雑誌の場合；著者（筆頭者のみ記載し，それ以上の場合は…… 他，…… et al とする），表題，雑誌名（公の省略法（医学中央雑誌，Index Medicus）に従うこと），巻，頁-頁，年号の順に記す。
 例) 渡辺英伸 他：病理から見た消化管の悪性病変と皮膚病変。胃と腸 18：465-478, 1993
 例) St, rohm WD et al：Ultrasonic tomography by means fiberendoscope. Ann Intern Med 12：241-244, 1985
- b) 書籍の場合；著者，表題，書名（編集者あるいは著書名），出版社名，出版地名，引用頁数，年号の順に記す。
 例) 坂本吾偉：良性上皮性腫瘍。乳腺腫瘍病理アトラス（坂本吾偉著），篠原出版，東京，pp 9-19, 1987
 例) McDivitt RW et al：Tumor of the Breast. Atlas of Tumor Pathology (McDivitt RW ed.)，MTP Press, New York, pp 103-128, 1989
10. 原稿は A4 判用紙（再生紙可）にプリントし，図，写真はフォトペーパーなどの専用紙に，図は上質紙（非再生紙）にプリントして編集部へ提出すること。図（写真）の番号と上下をプリントした用紙の裏面に表示すること。
11. 原稿，図，写真，表のデータを論文提出時に USB メモリーで，印刷分とは別に提出すること。
12. 掲載誌は筆頭者各位に 1 部，論文別冊 30 部と共に進呈する。それ以上の別冊を入用の場合は 50 部単位で実費にて作成することが出来る。
13. 論文掲載は無料とし，論文の採否，掲載順序，編集は編集幹事に一任される。著者校正は初校のみとする。